

第5次魚津市総合計画基本構想（案）へのご意見と市の考え方

No.	ご意見	意見要旨	魚津市の考え方
1	<p>今年は昭和100年目・戦後80年目の年。 【書籍・失敗の本質より】日本の組織病、場の空気を重んじる・過去の成功の固執・あいまいな結論・阿吽の呼吸・オールドボーイズネットワーク等々 物事を進めるうえでの結果が見えない文言の数々。 上記に照らし合わせて、今回の魚津市総合計画・改訂委員会メンバーはいかがでしたか？</p> <p>さて、本題です。 日々新しい情報が誕生し、いつの間にか情報が陳腐化し消え去ってしまい個人の価値観も多様化している今の世の中【高度情報化社会】 長中期的に計画を作り発表し、盛りだくさん内容どれが一押し政策？目標達成できなければどうするのか？【この計画書、誰も読まない社交辞令書？】 一層の事、今の時代“人口問題数値を記載せず総合計画を公表されてみてはいかがでしょうか。【評価される世の中では。】</p> <p>難しいかじ取りの時代カッコイイ魚津を・・・。 魚津市役所若手の皆さん、Don't think Fee。【考えるな！感じろ】ですよね。</p>	<p>① 現在のように、社会情勢が日々大きく変化するような状況において、本計画のような中長期的な計画を作成することに意味はあるのか。</p> <p>② 多数の政策が記載されているが、これらのうち、どの政策が一番重要と考えているのか伝わりづらい。</p> <p>③ 政策が達成できなかった場合にどうするのかを記載してみてはどうか。</p> <p>④ 今の時代においては、人口目標の数値を記載しない方が良いのではないか。</p>	<p>① 総合計画は、中長期的なまちづくりの基本的な考え方や方向性を定めることで、市民と行政の間で共有する行動の指針となる市の最上位計画として位置づけており、中長期的な計画は意義があるものと考えております。</p> <p>② 総合計画は、まちの将来像を実現するための指針であり、全ての政策はその実現に向けた役割を担っています。今後、お示しする「後期基本計画」では、特に優先度の高い施策を「重点施策」として明確に示していくこととしております。</p> <p>③ 総合計画では、すべての政策の進行管理をするため、PDCAサイクルによる見直しや、実施計画のローリング方式による見直しなど、フォローアップの仕組みがあります。 ご意見を参考に、市ホームページ等において、計画策定後の具体的な対応プロセス（評価の仕組み、改善の流れ）を、より分かりやすく明記することを検討します。これにより、計画の「実行」だけでなく「検証・改善」のプロセスもご理解いただき、市民の皆様に安心して計画の推進を見守っていただけるよう努めます。</p> <p>④ 人口減少が避けられない時代だからこそ、将来の人口規模をどう見据え、どのようなまちを目指すのかを市民全体で共有することが重要なと考えております。 新たな基本構想では、人口ビジョンの改訂に伴い「人口目標」の標記をやめ、将来人口の「見通し」をお示しすることとしました。 こうした人口予測に基づき、本市が直面する具体的な課題を浮き彫りにすることで、各政策分野の優先順位や方向性を明確にし、未来に備えることができると思っております。</p>
2	<p>序論部分 高校生アンケート調査 17,18ページ 設問②、④、⑤の回答肢の表現の取扱いについて 「わからない」の配置をご検討されてはいかがでしょうか。 例えば、意味内容を持つ選択肢を多い順に並べ、不明・無回答の前に、わからないを配置</p>	-	<p>ご意見ありがとうございます。ご意見を参考に、アンケート調査結果の表示の仕方について修正します。</p>

地区の役員や後継者づくりについて 魚津市13地区の振興会の共通したものとして、人口減と併せて地区での役員や後継者不足が問題になっています。 昨年、先進地の滋賀県草津市の「笠縫学区まちづくり協議会」視察し、指定管理者等にメリットやデミメリットを教えて頂いた中で、専任のセンター長を268,000円で雇っていました。私も含めて地区の役員等は無償が前提で運営をしていますが、センター長は有償でやっていただくのが時代の流れと考えます。 そこで、当連合会も今後定例会等で議論することになりました。8月25日定例会で13地区的会長に意見を出して頂き事務局でまとめていきます。今後定例会でもっと突っ込んだ内容にして行きます。 当然財政的なものも関わってきますので、単独で決めることができませんし、市長にもお願いしたいこともありますので、よろしくお願ひいたします。 また、令和9年4月1日から、指定管理者制度が全地区で始まりますので、一定の成果を出して行きたいと考えています。よろしくお願ひいたします。	魚津市13地区の振興会の共通したものとして、人口減と併せて地区での役員や後継者不足が問題になっている。 現在、地区の役員等は無償が前提で運営を行っているが、今後は有償でやってもらうのが時代の流れと考える。 この件について、魚津市地域振興会連合会においても、今後、定例会等で議論することになった。 財政的なものも関わってくるので、連合会単独で決められることではないのだが、またぜひよろしくお願ひしたい。	人口減少と高齢化に伴う担い手不足は、魚津市全体で直面している重要な課題であり、地域コミュニティの維持に不可欠な地域振興会の運営に大きな影響を与えることを認識しています。 地域活動を牽引する立場の方の有償化（公費化）については、財政面だけでなく、本市がこれまで進めてきた取組や、13地区それぞれにおける市民自治のあり方にも関わる重要なテーマと捉えています。自治振興会連合会での議論を尊重しつつ、本市として、以下の点を十分整理する必要があると考えております。 ○財政面への影響：財源の確保や市全体の財政面における課題と併せて検討します。 ○公平性の担保：一部役員の活動を有償化（公費化）することに対する各地域との合意形成を図る必要があると考えます。 ○役割と責務：すでに在籍している地域振興事務員との業務内容のすみ分けや、役割や責任の度合いを整理・検討していく必要があります。 ○時代に即した地域活動のあり方の見直し：地域活動を牽引する立場の方や一部役員に過度な負担が生じないよう、これまでの活動のあり方の見直しや、デジタル技術の活用などを有償化と併せて検討していきます。 ○地域における市民自治の推進：一部役員の有償化（公費化）により、地域コミュニティが自らの行動に責任を持ち、自主的かつ自立的に地域活動を行っていくという魚津市自治基本条例の理念との整理を行う必要があります。
何かしらの使い分けの関係もあると思いますが、公用文作成においては、項番の後ろは「.」ではなく、空欄とすることとされている場合が多いです。 整理のご検討いかがでしょうか。 ※「公用文作成の基準について」等を参照	-	ご意見を参考に、項番の標記の仕方について検討します。